



きんひが通信

令和2年4月13日

<第1号>

校長 平塚智康

令和2年度がスタート！

4月6日（月）、校庭の桜が満開に咲き誇る中、新入生30名（男子20名、女子10名）が元気に入學しました。今年は、新型コロナウイルス対策で、入学式への在校生の参加は、6年生の代表のみとなりましたが、新1年生は大きな声で返事をし、校長や来賓の話聞く態度もとても立派でした。

全校児童211名、職員27名で希望の新年度がスタートしました。



【今年度の学校教育目標】

自分も人も大切にできる きんひがの子

～みんなが幸せを実感できる学校を目指して～

【目指す子どもたちの姿】

「やさしく」

- ・自分も人も大切にできる子

（自己有用感・自己肯定感がある、人のいたみがわかる、思いやりがある、友達となかよくする、人に親切にする、人の役にたとうとする、等。）

「さとく」

- ・主体的、協動的、対話的に学び、賢くなろうと努力できる子

（人の話を最後までしっかり聞く、進んで学習に取り組む、友達と力を合わせて課題を解決しようとする、あきらめず根気よく努力する、等）

「たくましく」

- ・心と体の健康力の高い子

（明るく元気にあいさつをする、進んで運動したり外遊びしたりする、つらいことやいやなことがあったらだれかに相談できる、少々のことではへこたれない、等）

（裏面へつづく）

本校勤務2年目になる、校長の^{ひらつかともやす}平塚智康です。7年前まで（H21年度～H25年度の5年間）、この「きんひが」に勤務していましたので、通算7年目となります。「きんひが」は、私にとって教師としての原点の学校です。というのも、今から三十数年前、大学3年生の時、ここで1ヶ月間教育実習をさせてもらったのです。（当時の3年1組、平田紀子先生のクラス）こうした縁の深い、錦城東小学校に今年も勤務することができ、以前と変わらない子どもたちの明るい笑顔に囲まれて、私自身とても幸せな気持ちでいっぱいです。

私は、「子どもたちが通いたい、保護者や地域の方が通わせたい、教職員が働きたい」そんな学校をつくっていきたくと思っています。そして、子どもたちも、保護者も、職員も、みんなが、「きんひが」に通えてよかった・通わせてよかったと、幸せを実感できる学校にしていきたいと思っています。その目標に向かって、全教職員がワンチームとなって、力を合わせてがんばってまいります。

また、目標を具現化するためには、保護者の皆様と、子どもへの支援や子育てについて、考えや方法を共有したり、連携したりしていくことも大切です。より良い「きんひが」にしていくためのご提案や、お子さんに関する心配事などありましたら、いつでも気軽にご来校・ご相談下さい。

1年間どうぞ温かいご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

錦城東小学校 校長 平塚 智康

新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業について

3月の臨時休業の措置が終了し、ようやく学校に日常が戻ってきたと喜んでいた矢先の再びの臨時休業。臨時休業期間中から、新年度・新学年に向けいろんな準備を進めてきた職員一同、落胆しているのが実情です。子どもたちも、入学・進級を節目として、新たな学習や活動に目を輝かせ、やる気満々でがんばっているのに、残念でたまりません。

石川県の感染拡大が止まらない現状において、子どもたちの健康・安全を守るためとは言え、子どもたちを成長させる大切な行事や楽しみにしていた活動を次々と中止せざるを得ないことは、本当に断腸の思いです。保護者の皆様にも、ご心配・ご迷惑をおかけすることになりますが、何卒ご理解の上ご協力下さい。1日も早い事態の終息と、子どもたち・保護者の皆様の健康・安全を祈るばかりです。

私たち教職員も、気を引き締めて感染予防に努め、できることを精一杯やっていきたいと思っておりますので、ご不明な点などあれば、何なりとご連絡・ご相談下さい。